いわき民報
電話八三番　平町田部　印刷所　いわき民報社
印刷人　田部　厚
発行人　田部　厚
毎月一日、十一日、廿一日発行
定価一ケ月七十錢

次期政権は自由黨へ

自由黨平支部長　金古政道氏談

片山内閣は益に紛糾を重ねるに至つた、次期政権をめぐつて民主黨は苦境に陥つているが政権の獲得から第一部黨である日本自由黨が次期政局担当の有力候補に挙げられている、右に関して自由黨平支部長金古政道氏は語る

片山内閣は僅か半歳余にして國民の信を失い今期國會中に瓦解すべきことは既定の事實であつた、追加豫算案をめぐつて社會黨内に對立を生じ、片山内閣が遂に崩壊するに至つたのは單に多少時期を早めたに過ぎない次期政權をめぐつて民主黨あし田派が動いているのは誠に浅ましいあがきである、政黨に行き詰つていないとはいいながら民に當も一着の責任を負うべきが當然であり、現在内閣の閣僚は第一野黨の自由黨を除いて他にあり得ない、吉田總裁の指導する救國保守政黨を以つて國家再建の危機を切り抜けることがもつとも望ましいが民主黨あし田派の足並が揃はぬ場合は自由黨單獨でも組閣し國民に信を問うて國會を解散することが正しい行き方であると思う、あし田派の政權たらい廻しは斷乎排撃せねばならぬ

正月も見事に出超

上中旬の赤もカバーして

常磐炭田一月の出炭は上、中旬赤字續きで憂慮されていたが下旬の出炭はものすごく東北管内が二万一千七百十一トン、東部管内が三千三百六十二トンという黒字で結局、上中旬の赤字をカバーして目標二十六万四千トンに對し十八万六千三百十三トンの出炭で、二千一百十三トンの出超をみし全國を刺激している常磐炭田の意気を力強く語っている

各鑛とも黒字で

なお各鑛の下旬出炭成績は左の通りで、いづれも黒字で赤字は東部管内のその他と一括される小鑛のみであつた（カツコ内は延行率）

▲東北管内　常磐湯本一六、一二六三（一〇八）▲合同一三、三六九（一一〇）▲全磐崎四、六三一（一一五四）▲古河好間一〇、〇三一（七〇一）▲大日本なこそ六、七一四（一〇三）▲小田二、八八六（一一二）▲隅田川一、八一七（一二一）▲矢郷九〇二（一一五〇）▲磐一、一五四（一一四）▲戸部一、〇一六（一二七）▲上出田二、〇四一（一〇四）▲日曹赤井二、五八〇（一一七）▲全磐島七六四（一〇九）▲二松八

本田正治署長平日着任

平自治警察署長本田正治氏は十日着任各方面に挨拶廻り

背負つた新生登場

夢の立鹿や術頭鷲りも行う

ピース三月末まで配給停止

新生の煙出しが始つた一專賣局平出張所の調査は二千百二十萬本（八千二百十萬四千円）でこれを完全に捌くために平驛の立鹿、映畫館内の販賣網を完備するまたこの新生鹿賣中の三月末までにはピースの一部も停止する、二、三の兩月間の同所で扱う煙草は配給品も加えて二億九千万円を目標とする、管ない主要町村への割當次の通り、なお現在のバラ賣は下旬ごろから箱詰となる

磐平市ない（七百万本）小名濱（四百万本）内ごう（二百二十万本）預田百六十万本）好間、汐名、なこそ（百万本）

魚類の變更

登錄日決る

市の鮮魚介販賣登錄は十六日（小賣店舗の開出は十二日まで）水產加工品の一般登錄は二十三日（小賣店舗開出は十八日まで）市役所（行う

牛乳と乳製品登錄店舗

乳製品の登錄は十二、四の兩日一齊に行うが市の登錄店舗は次の通り

【乳製品】大平屋、西村屋

ミルク（乳製品）の配給

育兒保健衛生の一端を擔ふ町の化學者

市内の乳兒（一才未満）を有する家庭へ次記藥舗（御願ひ致します

本通小路	瀬尾藥局	一丁目	大平屋藥舗
二丁目	西村屋藥局	三丁目	ホシ藥局
五丁目	平藥局	田町	小野田藥局
町	阿部藥舗		

牛乳御入用の方に御知らせ

三月一日より市内の飲用牛乳は全て牛乳御入用の方は來る二月十五日所配給所へお申込になつて左記店舗中御希望の處へ御申込下さい、今後は登錄に合格した店舗ならばどこからでも買うことが出來ます

北目町	一五二	若松牛乳店	
田町		鈴木牛乳店	
飯田町十一		青果物直賣所	
白銀町十三		岡田牛乳店	
岡田牛乳驛前配給所			

備考　は印鑑持參の事
新たに牛乳の配給を受けられる方は保給所、愛隣館、婦人會館又は獅師の證明書を持參して下さい

依然多い小荷物違反

平署連日取締り實行に決定

平署では九日午前零時一分から一〇一ヤミ列車小荷物の取締りを實施、百四十個發見されたが、近ごろ小荷物統制物資違反の多いのに鑑み、平署では斷乎一掃のため連日取締ることになつた

▲白米五八八㌔▲玄米二㌔▲精米二三㌔▲大豆二三㌔▲小豆一八六㌔▲ウズラ豆一二九㌔▲穀粉一七八㌔▲モチ九㌔▲雜穀二三七貫七〇〇匁百四十件であつた

落札さる

磐城土建に

（第二期）（第一期）

四六四万四千円で平第一小學校第二期工事の指名競爭入札は十日午前十時から役所で開いた結果、四百〇六十四万四千円で當時十數口唯一の入札（四八）を得した磐城土建に落札した

四倉町に覆面強盗

縛れて一物も得ず

十日午前二時ごろ四倉町字堀下無職小田總太郎さん（二六）方（表入口より侵入、裏口より逃走）へ覆面、黒ズック

いわき寸言

○飢えぬものは滿の酒夢と白波、サテも一つおまけにすまじ（三一）とは五箇門どんもまた知るメエがナ○國立月一ヤミ正月一滿足には正月は出來ませんと申さお候？

性病科　内科　矢吹醫院　平市鎌田町　電八二八番

○飢えぬものは滿の酒夢と白波、サテも一つおまけにすまじ（三一）とは五箇門どんもまた知るメエがナ○國立月一ヤミ正月一滿足には正月は出來ませんと申さお候？

受買金即

綴一類衣（96）

大崎屋　平銀町　電小紅コロ

御申込により特別利益にて取引致します
御賣買しの御相談に

石城本郡の先史時代

史談會長　根本忠孝

一、はしがき

昭和二十三年二月一日、夏井川の支流愛川のほとりである[illegible]に於て此稿を書き初む。考古學上から見て吾が石城郡の先史時代即ち石器時代の状態はどうであったか、そして其遺蹟にはどんなものが存しているか、これ等の遺蹟からはどんな遺物が發見されているか、私は未だ獨立した且つ全般に亘った記述を見ることが出來なかった。故に或る局部の詳しい研究は避けて全般的に概論だけを述べて見ることゝする。

二、石器時代の意義

先づきよう土石城郡の石器時代を述べる前に、石器時代の意義を明にする要がある。石器時代とは石時代「ストーン、エージ」と稱せる歐語を意譯せるもので石を以て利器とした時代をいうのである。石器時代という語の起りは、今を去る百年ばかり前にデンマーク及スウェーデンの學者の首唱した所で、これ等の國々に於ては石器の發見する階層より銅器、鐵器の發見する階層[illegible]り發見せられたが故に、こゝに於て如何なる民族が最初に石器時代より發し青銅時代に移り更に鐵器時代に移りたるものであるとの説が廣く行はれ、人類發達の順序として必ずこの三時代を經過するものであるというのである。わが國の石器時代はもち論有史以前であって其年代の如きも詳かに知ることを得ず、漠然として殆んど想像して憚らなかったのであるが、其遺蹟から發見せる石器土器その他の遺物によって考古學者の熱心なる研究により朧氣ながらも當時の状態を知ることが出來たのである。

三、本郡の遺蹟

太古の状態を知るは、石器時代の遺蹟を探るが先決である。この時代のことたる數千年の昔にして殆んど文獻の徴するものは一物なく又口碑の證すべきものすら無い。只遺蹟を發掘して遺物の無文の記錄により當時の生活状態を考察し以て開化の程度を諭るのである。つまり先史考古學に主として之等の遺蹟遺物により當時の状態を究明するの外はない。本郡に於ける石器時代の遺蹟は、これを分ちて貝塚と遺物包含層の二種とする。貝塚とは一体何であるか、貝塚は海濱に居を占めて貝類を捕食した當時の民族が、その貝殻を捨てた場所で、つまり當時の塵捨所であった。この貝塚を發掘すると貝殻に交りて石器土器などが發見することが出來て、當時の生活状態を調べるに學問的に役立ち貝塚は考古學上重要なものになっている。然らば本郡ないにはこの貝塚が如何に分布しているかというに勿論海濱に面した地方だけではあるが、現在發見されているのは左の通りである。（カッコないの數字はその數を示す）

[illegible]村（一）鶴崎村（三）江名町（二）玉川村（二）[illegible]島村（二）[illegible]井村（一）[illegible]谷村（二）大浦村（一）[illegible]野村（二）小名濱町（二）

以上十五ヶ所であるがこの外に未發見でいる所も新たに[illegible]ると思う

ヤミルート　檢問所の二十四時間

ヤミ屋も警察官も正に眞剣

ヤミ根絶にたちあがった平署では翌春の取締強化と並行してヤミルートと云はれる市内各國、縣道の要衝に檢問所を設置、正月以來九ヶ月間たくみに横行するヤミ商及び買出人の摘發に當って來たが、通る者、通はれる者共に眞剣、酸寒、空腹、疲勞と鬪う警官の苦勞も並々ではない、以下は記者が見た某國道筋にある朝から晩まで「檢問所二十四時間」の記錄である

鮮魚と中年女の氾濫

油斷のならないコヤシ桶

（朝）霜深るぶつ曉からもう檢問は始まっている、朝の取締の對象は何んといってもヤミ魚が斷然多い、トラック、自轉車はもちろん、朝のバスで運ぶ時間だけでもざっと五六十貫はあり、この殆んどが中年女の手で持込まれている、大体中年女は概して心臓も強く男まさりの度胸で良く警官を手古摺らせる、列車取締りなどでも便所に行きたいと稱へて大きなリックを背負ったまゝ暗がりへ入ったきり戻って來ないのも中年女だ、この魚に次いで頭の痛いのは肥料汲取の百姓たちだった、臭いものには手をつけぬだろうと人糞桶に芋類を入れて通る荷馬車、リヤカーが危い、中味はサツマ芋や馬鈴薯、六十貫の隠匿イモである、この常套手段に取締官からもいちぐ臭い桶に手をつけず西瓜の出る方[illegible]でたいての反感と曲者退治に當っている、檢問も大分[illegible]み恐氣もやわらぐともう[illegible]取締りに移る

「その荷物は何んだね」「はい米です」「どこから持って來た」「小川の方から炭鑛へ行くと斷ると思って持って來た」調べて見ると供出の余った分を一升百三十円位の闇値で[illegible]、汽車に乗らず二斗五升も背負って歩いて來たというから「こゝまで來るうち良く捕らなかったナ」と警官も感心すれば當人「鋪道を通って來たのですが…そうですか」といったチャッカリぶり、呆れたり感心したりの[illegible]、檢問所のすぐ傍の細道を通る野菜の包を背負った六十親父に「一寸待った」を掛けると[illegible]際は六貫匁の人参、ごぼう…所持金二千円、無職、内郷町鋼販の××與四郎という「そんなに大金を持ってどうするのか」「これ位ないとなんにも買えませんので」これで野菜買出ブローカーの化けの皮も段々はがれてくる—、一貫匁位の野菜を何回も同じ人間が同一方向へ運ぶのは野菜屋さんに多く野菜の商所を作って小口運搬とある取締りが生んだ新戦法だそうです。

日中は余り違反者も無い、[illegible]當のお巡さんも雑談に耽る「同じ官吏でありながら、もし正服正帽で堂々買出をする鐵道員を羨むよ、若しも[illegible]が正服で買出をしてご覧なさい、赤い顔して[illegible]いただけでもう街の人々は変な顔つきで見るんですよ……もっと官吏である以上尊重して貰いたいですネ

晝

新戦法

野菜屋さん

だかさすがに[illegible]こんな女もいた、白鐵至々國道筋を大きな荷物を背負ってやって來る「[illegible]

夜

欲しい輕快な自轉車

シャクにさわる新圖エロハイヤー

物騒な姿が來た猫の眼のように警官の眼も異常に光ります、制止もきかず疾走するヤミ三輪車、自轉車それを追跡する警官、遂に取りにがし残念さ

余程發砲しようかと思ったがヤミで見るもつかぬせめて輕快な自轉車が備へてあれば良いのだが借物では思うように進まず良い自轉車を吾々に與へて戴いたいですよ

とその怨恨を稿る、寒い空ッ風が肌を刺す、その頃附近の部落民がご苦勞さんと湯茶のお茶を進める、嬉しく三杯をのみほし「近頃は民衆も協力的になって來た」と喜ぶ、通るトラック、ハイヤー、自轉車、通行人の人影…一々氣を配れば、神經の疲れることおびたゞしい、警官の苦勞では檢問所の役目を知って國道筋をとおらず鐵道を歩く者が多くなり炭鑛方面へは薬タバコを背負うヤミ商人が相當あるとか…夜は闇の商田階級であろうハイヤーが目立って多く通過する、なかくこのハイヤーも油斷は出來ない、ヤミ物資をハイヤーで運ぶのも最近の傾向なのだ、苦しそうなブレーキの音と共に停止した一台のハイヤー、客は藝者風の女二人と未だ若い男一人、一應檢問すれば當の客も迷惑千萬だといった顔つき、運ちゃんだけが体裁の良い應答をする、番頭通過の合圖で動きだすハイヤーの中の會話

女「今のは何によ」運ちゃ「この闇から張ってるんでね、やかましいでしょ」男「どうせヒラ巡査の奴ッ俗だろう」女「そうよわかいやつに限って生意氣にむつかしく調べるのよ」はっきり聽きとれる連中の皮肉たっぷりな話題、「ちッ、この寒いのに誰が道樂や好きこのんなことをする、千六百円ペースでハイヤーで」と西[illegible]の[illegible]が出來るかというらんだからこそ生活に苦しむ大衆の[illegible]赤い灯が暗闇に消えて行くのを見送りつゝ警官ぶつく、人家は既に暖房だ、三ッ星も頭の上にきてもう×時だ、あすの勤務は×時どおり待っている、西風の中を警官たちは一勝不賭で引揚げて行く—吹きさらしの檢問所勤務で相當疲れ顔が[illegible]いたで笑いながら記者と別れたのは黎明に近い時刻だった

藝倶結成式

華かだった

きのう夜公會堂で錦木傳明氏を會長に地元文化の向上を目指して生れた藝[illegible]クラブの結成式は九日午後六時から市公會堂日本間に擧げた、當夜は特に[illegible]の男の[illegible]で來務中の松竹佐々木監督、化粧周二、逢初夢子、新人水宮れい子他の氣鋭歌人の出席があったほか花柳登[illegible]會長に中商バンドの參加もあって盛會を極めた、なお今後毎月例會を開く豫定で同好人の入會を要望している

空巣の余罪

去る四日内郷町御台境醫[illegible]大[illegible]さん方に[illegible]入って[illegible]われた相馬郡大[illegible]村生れ住所不定無職高田[illegible]（一九）は[illegible]その後去る二十一日午前十時半[illegible]谷村下[illegible]村武さん（三四）の不在中同家から衣服三十點、現金千六百円を盗んだが家人に發見されたので盗品を捨てゝ逃走したほか市ない、内郷[illegible]谷をまたに十數件の空巣を働いていた事が判明した

福引券付大賣出し

化粧品の外
全商品一割引致します

ブローチ・ロケット・ペンランド・ユピワ
ハンドバック・リボン・クシ・造花
化粧品セット・財布・鏡・ほか全部…

高級化粧品豊富に有ります

平市銀座通り
メイ化粧品店